

耳鼻咽喉科

1. 診療科紹介

耳鼻咽喉科は頸部から頭蓋底までを守備範囲とし、多くの感覚器を扱う幅広い診療科です。いわゆる風邪症状の外来診察から大きな手術までを同一科で行うため、研修医時代から様々な臨床経験が積めるはずで、当科は都内の同規模研修施設の中ではトップクラスの手術実績を誇っており、頭頸部悪性腫瘍を除いたほとんどの手術と検査が可能です。また、手術経験豊富なスタッフですので、早くから手術に携わりたいと願っている方には最適な教育体制を提供出来ると思います。大学関連施設が15施設（都内だけでも9施設）あり、当院で経験数が少ないと思われる研修内容についてはこれらの施設で学ぶことも出来ます。

教育体制 研修責任者 宮崎口出海（日本耳鼻咽喉科学会認定専門医、騒音性難聴指導医、補聴器相談医）
スタッフ 中山次久（日本耳鼻咽喉科学会認定専門医）
非常勤医師 3名
施設認定 日本耳鼻咽喉科専門医研修施設

2. 診療実績（2007年度）

外来患者数	年間	9000名
入院患者数	年間	350名
手術件数	年間	270例

3. 研修内容

1年目

外来：耳鼻咽喉科診察、内視鏡検査、画像診断、細菌検査、組織検査、耳鼻科初期診断、治療（通気、上顎洞穿刺）

検査：純音、スピーチ、インピーダンス、直立・偏奇試験、眼振検査、顔面表情筋評価、鼻汁好酸球検査、嗅覚検査

入院：耳鼻咽喉科術後一般処置・管理、めまい・突発性難聴治療、急性炎症診断・治療

手術：扁桃周囲膿瘍切開術、アデノイド切除術、扁桃摘出術、気管切開術、下鼻甲介レーザー焼灼術、鼻骨骨折整復術

2年目

外来：外来救急処置（鼻出血止血処置）、鼓膜切開、唾液腺洗浄・造影、眩暈・難聴診断、頭頸部腫瘍の診断（細胞診）

検査：補充現象、あぶみ骨筋反射、温度眼振検査、重心動揺計、アレルギー皮内反応、鼻腔通気度検査、睡眠時無呼吸症候群評価

入院：頭頸部良性・悪性腫瘍術後管理、化学療法、放射線治療

手術：鼻中隔矯正術、内視鏡下鼻手術、鼓膜チューブ挿入術

3年目

外来：内視鏡下咽喉頭生検・咽喉頭異物摘出、補聴器処方

検査：OAE、補聴器フィティング、聴性脳幹反応、ENG

入院：緊急気管切開、術後止血対応

手術：頭頸部良性腫瘍摘出術（顎下腺摘出術、甲状腺手術、頸嚢胞手術）、口腔内レーザー治療、鼓膜形成術、喉頭微細手術、上顎洞手術、蝶形骨洞手術